地域の農を支える生産者

箕面市稲地域

こばやし　こうぞう

小林康三

さん（60歳）

箕面の大都会でハウス栽培

大きさよりも適期で収穫し、消費者には本当に良いものを。

Q 始めたきっかけについてお聞かせください。

A 元々は会社員をしたり自営業でした。先祖代々続いている農地があった訳でもなく、仕事を辞め、一年間、箕面市農業公社にお世話になり、場所を探し岡山県で就農しました。去年戻ってきて、ここで始めました。今の時代、定年があってないような時代です。会社にただ勤めるだけでなく、自分で実績をつくりあげていかなければなりません。それも人が査定・評価し、給料が変わっていく…その体制を不公平に感じてしまったんです。それに比べ、農業って自分が働かなければ収入はゼロですし、頑張って働けば、その分の対価は得られますよね。自分のタイミングで働いて文句を言われることもありません。楽しみながら自分のペースでストレスなく働ける農業に魅力を感じました。

今年初挑戦のメロン

タカノツメ

チンゲンサイ

Q 生産のこだわりについて

A 美味しく出来るようにとまだまだ試行錯誤中ですが、土壌には気を付けています。また、自分自身が食べる為などには一切栽培しておらず、商品として本当に美味しいものをしっかり作って、消費者にいいものを提供しようと思いながらつくっています。

Q 大変だったこと・嬉しかったことはありますか。

A 何をするにしても農業は大変ですが、それを苦に思うことはありません。逆に毎日農業・仕事ができていることが何より嬉しいです。毎日出荷しても野菜が売れ残ることもなく、味・形等が評価してもらえてることも嬉しいですね。

Q これからの目標や夢をお聞かせください。

A 元気に暮らしていけたら嬉しいです。一生涯何らかの形で農業に携わりたいなと思います。

ほく彩館に
ほぼ毎日出荷の
キュウリ

主な栽培品目

キュウリ
ミニトマト
アスパラガス
ズッキーニ
ピーマン